

令和6年1月31日

## 札幌中小建設業協会 令和5年度安全標語

〔 優 秀 賞 〕

災害は無理と油断と焦りから

そんな時こそひと呼吸

作者 及 川 湧 氏 (榊丸周中村土木)

※令和6年度の安全標語は、2月から募集開始予定です。

### 会長年頭所感

新年明けましておめでとうございます。2024年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。日頃より、当協会の活動、事業推進に格別のご理解、ご協力を賜っていますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の取り扱いも5類相当に移行し、少しずつコロナ禍前のにぎわいが戻ってきています。

夏には市内でも猛暑日を記録し、例年にないほどの熱い夏となりました。今冬は暖冬見通しとなるなど、気候変動の影響が感じられるような事柄も増えてきました。今夏の猛暑を踏まえ、全道各地の教育施設ではエアコン設備の導入といった新たな動きも出てきています。

当協会の活動につきましては、新型コロナウイルス感染拡大以降、初めて全ての事業が実施できた1年となり、元に戻った実感があります。昨年3月には、4年ぶりに会員企業との区別意見交換会を開催しました。会員が集まり、さまざまな視点から意見を交わすことの重要性を再認識しました。

2024年4月にはいよいよ罰則付き時間外労働の上限規制が始まります。会員各社では4月のスタートに向けて、さまざまな取り組みの準備や検証、運用に向けた詰めの作業が進んでいます。この「24年問題」にいかに上手く対応できるかが新年に各社が抱える最大の課題となります。その上で現場での時間外労働をいかに減らすかが鍵になると考えています。そのためにも、余裕ある工期設定や早期発注など発注時期の平準化が大切で、引き続き札幌市に求めていく考えです。

一方で、働き方改革を進めるためには原資が必要となります。そのためにも札幌市発注工事におきましては、最低制限価格の引き上げを求めます。資材価格の高騰が続く中、単価の見直しだけではなかなか実勢価格に追いつくことは難しく、最低制限価格の引き上げなど抜本的な対策がなければスピード感を持って対応することは難しい状況です。担い手確保の観点からも、社員の働きやすい環境の実現と給与面を含めた充実が建設業の魅力アップにつながると考えています。

札幌市では、さっぽろ建設産業活性化プランの改定作業が進んでいます。当会も策定作業に参加させていただき、建設業界の魅力向上などの各種取り組みを札幌市とともに推進する所存です。

また、総合評価の本格実施に合わせた改正では、ダンピング対策の強化と工事成績に応じたインセンティブ拡充などが盛り込まれました。工事成績が評価されることは、会員各社の励みにもなり、より良い成果品にもつながり、ひいては質の高いまちづくりにつながると考えます。

協会としましては、地域の安全安心の守り手としての使命感を強く持ち、札幌市との連携を強化しながら災害など有事に備えてまいります。引き続き、皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新年が皆様にとって実り多く素晴らしい年となりますよう心より祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

令和6年新春 一般社団法人札幌中小建設業協会 会長 大井 貞雄

## 行 事 情 報

### ○ 定時総会が開催される。

一般社団法人札幌中小建設業協会第15回定時総会が1月25日、札幌パークホテルで開かれ、会員社から80名余りの皆様が出席して行われました。2年振りの開催となった昨年に続きお陰様で今年も、無事開催することが出来ました。

定時総会の議事内容は、本号にてお知らせしておりますので、後ほどご覧ください。提出議案については、全て承認されました。

“総会風景”



## ○ 新春懇談会が開催される。

昨年引き続き一般社団法人札幌中小建設業協会新春懇談会が1月25日、札幌パークホテルで開かれ、会員社77名並びに天野札幌市副市長、中田交通事業管理者、佐々木水道事業管理者、荻田建設局長、小泉下水道河川局長、中村都市局長はじめ多数の来賓を迎え執り行われました。

懇談会は、大井会長挨拶の後、御来賓の天野副市長が祝辞の中で、札幌中小建設業協会会員企業の日頃からの安全、安心への取組と胆振東部地震以来の尽力に謝辞を述べるとともに「能登半島地震を見、災害に強い街づくりの重要性を再認識した。一昨年の豪雪時も会員企業の皆様が結束して乗り切っていただいた。地元中小建設業の経営安定はインフラ維持にもつながり、災害時の機動力の点で欠かせない存在。今後ともご協力、支援をいただきたい。」「昨年は、今後100年を見据えた魅力ある街づくり計画を策定したところ。喫緊の課題が山積している中、事業予算を確保し、協会の皆様と連携を図りながら、確実に事業を進めていきたい。」とのご祝辞を頂戴しました。

## 定時総会の概要

1月25日(木)午後4時より、パークホテルにおいて、当会の第15回定時総会が開催されましたので、本号ではその概要について報告いたします。

### 【司会】

当日は、まず、司会を務める三鍋総務委員長(株佐野重機)から、会員社73社(出席82名)、委任状提出23社であり本総会が成立していることを報告した後、大井会長(株オオイ工務店)から以下の挨拶がありました。

### 【大井会長挨拶】

年明け早々、能登半島地震、日航機の衝突事故が発生し、普段からの訓練の重要性を再認識させられた。協会としては、毎年、災害時市有施設維持管理協定に基づく伝達参集訓練を行っており、会員の皆様も10区の災防協での訓練に参加されているところだが、胆振東部地震の経験を踏まえて、今後も油断なく備えていくことが必要だと思う。

令和2年の新型コロナウイルス感染症の発生以来、事業中止、規模縮小を余儀なくされてきたが、昨年は4年振りに、事業計画で予定した事業をすべて通常規模で開催することが出来た。

特に新年度事業の皮切りとなる地域別懇談会は、4年振りの実施となり、会員の皆様からいただいた貴重な意見を、8月から9月にかけて行った市との意見交換会において関係部局に挙げていくことが出来た。今年も、3月28日(木)、4月2日(火)、4月4日(木)に、「ネストホテル札幌駅前(旧チサンホテル)」において実施予定なので、是非ご出席願いたい。

### 【新入会員紹介】

令和5年に入会された、北区の津坂建設工業(株)津坂社長、及び白石区の勇成興業(株)渋谷部長からひと言ずつご挨拶をいただく。

#### “新会員紹介風景”



### 【中西議長選出】

会則の規定により、1月18日(木)開催の定例役員会において、あらかじめ選出された中西副会長(中定建設工業(株))が議長を務めることとし、以下、議事を進行。

### 【議事進行】

中西議長の進行により、以下、報告2件、議案3件について審議。

## 報告第1号 令和5年度事業報告

嘉屋副会長(株園建)より報告。

「令和5年度事業報告」をいたします。議案書は2頁です。

まず、大項目1点目の 総括としまして、

令和5年度は、札幌市の建設事業費1,335億円が計上され、これは、先に提案されました「札幌まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」による5年間の建設事業費総額5,938億円に基づくものであり、ここ数年安定した発注に至りました。

しかしながら、過去の工事量減少の影響から、経済情勢が不透明な中、雇用の確保、人材育成、資材不足等多くの課題があり、特に現場従事者不足が顕著で、中小建設業には多くの面で困難な年でありました。

そのような中で本会は、ますます重要となっている中小建設業の結束を図るため、会員の意見、要望集約に取り組むと共に、組織の強化を目指し、本会の運営を進めてまいりました。

(次に、議案書2頁～3頁)大項目2点目 各種会議ですが、

(1) 定時総会を開催するとともに、3年振りとなる新春懇談会を開催することが

出来ました。(2) 理事会(正副会長会議)、(3) 役員会、(4) 委員会は予定どおりの開催となり、(5) 地域別会員懇談会は、ネストホテルに会場を移して、4年振りに開催し、働き方改革への対応等、当面する課題について活発な意見交換が行われました。

(続いて、議案書3頁～5頁にかけて)

大項目3点目 調査研究・研修事業ですが、

(1) 代表者研修会については、4年振りに実施。新年度の当初に、建設関係部局の執行方針、予算概要について説明を受ける機会となりました。

(2) 現場技術者研修会については、昨年まで、新型コロナ感染症対策を踏まえ、各社1名で人数制限を設けた上で開催しておりましたが、4年振りに通常規模での集合研修を実施することが出来ました。合わせて、昨年からスタートした「オンデマンド」「リモート研修」として実施し、2回目のハイブリッド型研修会としました。

(3) 秋季代表者研修会は、北海道医療大学の塚本容子教授による講演を実施することが出来ました。また、研修会後に市の幹部職員を招いての意見交換会を4年振りに開催しました。

(4) 工事施工に伴う諸問題の調査を、アンケートにより調査しました。

(5) この調査により現場技術者から集約した意見、要望をテーマに札幌市5部局の課長クラスと意見交換会を行い、解決・改善の方向を探りました。都市局との意見交換会は従来どおり実施し、令和4年に対面で3年振りの意見交換会を実施した、財政局工事管理室、土木部・下水道河川局・給水部とは、今年度も継続して実施となりました。

(6) その内容を取りまとめて、「意見交換会の概要」として報告書にまとめ、全会員と札幌市関係部局に配布しました。

(次に議案書6頁～7頁)大項目4点目 安全推進事業としましては、

(1) 例年4月に開催しております安全大会については、これまで新型コロナ感染症対策に配慮し、規模縮小して実施して来ましたが、4年振りに通常規模で開催することが出来ました。また、同時に開催の、安全管理(年間総括)講評会も、4年振りの実施となり、施行者代表の安全宣言を行い、盛会裏に終了しました。

(2) 安全管理現場研修を10月に実施し、発注部局から関係職員の同行を得て、4年振りに通常規模での研修を行ないました。

(3) 普通応急手当講習会は、例年通り、3月に実施しました。

(4) 令和2年9月に締結しました札幌砕石共販との災害協定について、引き続き、緊急連絡網を確認のうえ、継続しました。

(5) 市有施設に係る災害時伝達、参集訓練として、10月に、多数の会員企業の

参加のもと、実施しました。

(次に議案書7頁～8頁)大項目5点目 **防犯推進事業**では、

(1) **防犯推進部**の活動状況としては報告のとおり、取扱件数4件で、前年比+2件の増加でした。その内訳で暴力団に関係する事案はなく、いずれもクレーム対応に関する相談でした。

また、暴力団の現状等講話を実施しました。

(2) **暴力追放事業**の参加、推進としては、

ア「**北海道暴力団排除推進会議**」については、新型コロナウイルス感染症対策のため「Zoomによるオンライン開催」となり、資料送付を受けました。

イ「**暴力団離脱者支援協議会**」が、7月にかでる2・7で開催され、当会会長が「幹事」に就任しました。

ウ「**夏の暴力追放運動**」に参加いたしました。

エ 10月の「**北海道暴力団追放道民大会**」、「**札幌地区暴力追放総決起集会**」に参加しました。

また、オ12月の「**冬の暴力追放運動**」に参加しました。

(3) **こども110番事業**への協力を継続し、会員企業が市内各所において、子供たちの安全安心を見守る地域貢献活動を実施しました。

(4) **交通安全情報**をメール送信しました。

(次に、議案書9頁)大項目6点目 **要望・陳情活動**では、

(1) **市長陳情**を12月下旬に実施し、4項目の申し入れを行ないました。

(2) **自由民主党札幌市支部連合会と政策要望懇談会**を開催しました(報告はメールによる開催、要望懇談は対面にて開催)。

(次に、その下)大項目7点目 **親睦事業**ですが、

例年どおり、6月に協会主催による**親睦ゴルフ大会**を開催しました。

(また、その下)大項目8点目 **広報活動**としては、広報誌

『**中建協だより**』を年6回(1、4、5、6、10、12月号、うち臨時号1回)発行しました。また、ホームページを更新しました。

最後に、(議案書10頁)大項目9点目 **会員の動静**ですが、令和5年中の入会企業が2社、退会企業が4社あり、会員社130社となっております。



以上でございます。

## 報告第2号 令和5年度決算報告及び監査報告

千葉副会長（光建工業㈱）より報告。

「令和5年度決算報告」につきまして、ご説明申し上げます。議案書は11頁から14頁です。

社団法人として第4期の決算となりますが、札幌中小建設業協会としては通算で15回目の決算となります。

（中略）

前期までは新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業規模の縮減を余儀なくされましたが、今期は4年振りに、当初想定した規模での決算数値となりました。

以上で令和5年度の決算報告を終わります。

## 監査報告

矢部監事（札幌建設運送㈱）からの監査報告。

去る令和6年1月18日、札幌中小建設業協会事務局において、大井会長、嘉屋副会長、三鍋総務委員長の立会いのもと、令和5年度会計における、収入支出決算について、通帳並びに関係帳簿、証票書類等を照合検査の結果、いずれも適正に、正確に処理されていることを確認しましたので、ここに報告します。

## 議案第1号 役員改選の件

長江副会長（道建工事㈱）より説明。

〔提案理由〕

現役員は、令和3年1月総会において選任された。その後、令和4年1月総会において、一般社団法人設立後の会社法の選任期間と合わせて偶数年の改選とするため、1年間の任期延長を議決し役員任期が令和3-5年期となっていたところであるが、当該任期が満了したため、定款及び会則に従い、役員改選を行うため本議案を提出する。

## 役員選考委員長、委員の選任

会場より一任を受けた議長が、役員選考委員会委員長、委員を選任。

石田 頼之氏 (株興陽技建)  
柴田 豊隆氏 (株日伸テクノ)  
金戸 淳一氏 (株和泉組)  
平井 均氏 (ノースロード株)  
岡本 敏秀氏 (岡本興業株)  
近藤 彰氏 (開建工業株)  
大野 稔氏 (大功建設株)



7氏が選任され、大野 稔氏が、本年度の役員選考委員会委員長に選任された。

### 令和6、7年度理事、監事、役員を発表

別室での討議の後、大野選考委員長より、新役員名が発表された。

まず、**理事社**を発表（順不同）。

(株)オオイ工務店、(株)園建、新立大一興業株、丸菱建設株、(株)北舗、光建工業株、道建工事株、中定建設工業株

次に**監事社**として、(株)興陽技建、札幌建設運送株。

**役員社**は、

朝倉土建工業株、(株)和泉組、開発運輸建設株、岡本興業株、鹿島舗道工業株、加藤建設株、(株)後藤曳家工業所、開建工業株、宏栄建設株、共創技建株、(株)勉建設、東海建設工業株、(株)鈴木工業、(株)丸洋鈴木組、三治建設株、タニケン工業(株)、北海道工業株、晃亜興業株、大富工業株、(株)丸周中村土木、和工建設株、丸栄山下建設株、(株)大東、山王建設株、(株)田畑建設札幌本店、(株)三上工務店、(株)水谷組、(株)佐野重機、宮浦興業株、安田興業株、柳原建設株、大雄建設株、北光営繕株。

### 理事会での会長選任、会長より副会長、相談役の委嘱

続いて、別室での理事会の結果、法人の代表理事となる会長は、大井会長(株)オオイ工務店)が再任での就任となった。

法人理事となる副会長は、従来の6名の副会長が留任、1名の副会長が新任とな



った。

1人目は、私、南区・中定建設工業の中西 光宏。引き続き務めさせていただきます。

2人目は、厚別区・園建の嘉屋 幸浩さん。

3人目は、手稲区・光建工業の千葉 建次さん。

4人目は、東区・道建工事の長江 一司(いちつかさ)さん。

5人目は、豊平区・新立大一興業の鈴木 和茂さん。

6人目は、東区・丸菱建設の鈴木 吉則さん。

7人目は、新任でございます、東区・北舗の高荷三千雄さん。

また、相談役としては、今までどおり豊平区の和泉組・会長の夏井坂 信幸さん、元会長であります東区の安田興業(株)・代表安田 謙一さん、前会長の西区(株)花井組代表の花井 俊文さん。

以上の理事会報告があった。

## 議案第2号 令和6年度事業計画(案)

鈴木和茂副会長(新立大一興業(株))より説明。

「令和6年度事業計画(案)」を説明いたします。議案書は17頁です。

具体的な説明に先立ちまして、全体の見通しについて述べさせていただきます。ご案内の通り、昨年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行した一方で、コロナ変異株やインフルエンザの流行等、感染症の拡大は未だに収まる状況には至っていない現状でございます。

こうした中、昨年は、社会経済活動も徐々に回復し、協会運営を積極的に進めた結果、令和元年以来、4年ぶりに、すべての事業を通常規模で実施することが出来ました。

また、これまでの経験を踏まえて、集合研修に、「オンデマンド」「リモート」研修を併せて行う等、研修方法にも工夫を加えて実施して参りました。

冒頭、述べましたとおり、社会経済情勢、感染症等、不透明な状況が続きますが、これらの動向を見極めながら、前期同様に各種の事業を進めていく考えでありますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

大項目1点目 各種会議ですが、

(1) 総会、(2) 理事会、(3) 役員会、(4) 委員会を記載のとおり行ないます。

(5) 地域別会員懇談会を3月末から4月初めに計画しております。2月に入りましたら、感染症の状況を見極め、御案内をいたしますので、ご参加の程よろしくお願いたします。

(議案書17頁～18頁)大項目2点目 調査研究・研修事業ですが、

(1) 新規事業としてASP研修会を実施します。来たる3月7日、経済センターにて予定しております。1月23日付けで御案内したところでありますので、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

(2) 春季の代表者研修事業を、予算確定後すみやかに

(3) 現場技術者研修会を6月に、

また、

(4) 秋季代表者研修会を11月に、

それぞれ開催予定としております。

(5) 工事施行に伴うアンケートにより現場意見を調査し、その結果に基づき札幌市との意見交換のテーマといたします。

(6) 現場技術者から集約した意見、要望をテーマに、札幌市関係部局の課長クラスと7～8月に意見交換を行います。

(7) その内容を取りまとめて、「意見交換会の概要」として報告書にまとめ、全会員と札幌市関係部局等に配布します。

(8) 大型工事見学会は、対象現場があれば随時実施します。

(議案書18頁)大項目3点目 安全推進事業としましては、

(1) 安全大会を安全管理(年間総括)講評会を含めて4月に開催、

(2) 安全管理現場研修を10月に実施します。

(3) 応急手当講習会を春の工事開始前3月に行ないます。

(議案書18頁～19頁)大項目4点目 防犯推進事業では、

(1) 防犯推進部の体制については、従来通り防犯推進部長が毎週1日乃至2日常駐し、その対応を行います。

(2) 公益活動への参加については、

① 暴迫センター事業への参加

② 「北海道暴力団排除推進協議会」への参加

(3) こども110番事業への協力

について、引き続き、多くの会員企業からご協力頂きます。

(議案書19頁)大項目5点目 要望・陳情活動では、

- (1) 市長陳情を12月下旬に実施し、申し入れを行いません。
- (2) 財政局契約担当、建設局工事担当等の関係機関との意見交換会を必要に応じて実施します。

(その下)大項目6点目 親睦事業では、今年度は、ゴルフ以外特に計画はありませんが、良い提案があれば、適時実施を計画します。

大項目7点目 広報活動としては、研修事業や役員会の動向等各種情報を提供する『中建協だより』を(1, 3, 4, 5, 6, 10, 12月の)年間7回発行する予定です。また、従前、災防協のホームページ内に間借りしておりました『中建協ホームページ』につきまして、令和4年から、独り立ちをしてリニューアルしております。『中建協だより』の発行に合わせて、逐次、追加改訂して参りますので、御覧いただければと存じます。

最後に、大項目8点目 行政機関等に対する協力として、暴力追放センター等の行政機関等が実施する啓発・公益事業に適宜参加、協力します。

### **議案第3号 令和5年度予算(案)**

鈴木吉則副会長（丸菱建設㈱）より説明。

「令和6年度予算(案)」を説明いたします。議案書は20頁です。

費用全体としては、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症対策のもと、事業の中止、規模縮小を余儀なくされながらの協会運営を続けて参りましたが、前期、令和5年度は、4年振りに、計画したすべての事業を通常規模で実施することが出来ました。今期につきましても、新型コロナウイルス感染症にインフルエンザが加わり、依然として不透明な情勢下ではありますが、昨年につき、各事業を出来るだけ従来規模で実施していく、との方針で予算案を作成しております。

なお、個々の事業の実施につきましては、定例役員会での検討を経て、その時点で、最善の形での実施に努めていく考えでありますので、会員の皆様のご理解をいただければと存じます。

(中略)

これらの結果、収入、支出同規模の収支見合いの予算案となりました。

今後とも、経費の見直しを進めながら、効率的な協会運営に努めて参りたいと考えております。

以上で令和6年度収支予算(案)の説明を終わります。